

2025年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期 決算説明会

2024年11月28日

- 本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本資料に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、資料の作成時点で入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要・・・・・・・・・・	P.3
II : 経営成績の推移について ・・・・・・	P.6
III : 事業の概況 ・・・・・・・・・・	P.9
IV : 第7次中計に基づく取り組み・・・・・・・・	P.18
V : 通期業績予想と配当予想 ・・・・・・	P.24
Appendix: 計数資料	

I : 企業グループの概要

I : 企業グループの概要(会社概要)



株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立 … 1954年10月28日

主要事業 … 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

機能性精密多孔質体製品の製造販売

従業員数 … 820名(2024年9月30日現在・連結)

関係会社 … 10社(当社含む連結対象企業)

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「ぬりぬりガラコ」



1999年
「プラスセーヌ」



1999年
「フクピカwet」



2003年
「G'zoxシリーズ」



2006年
「メガネのシャンプー」



※ プラスセーヌ(旧 プラスセーム)は鐘紡株式会社より1963年に発売、事業譲渡にて1999年より当社グループによる製造販売を開始。

I : 企業グループの概要(事業セグメント概要)

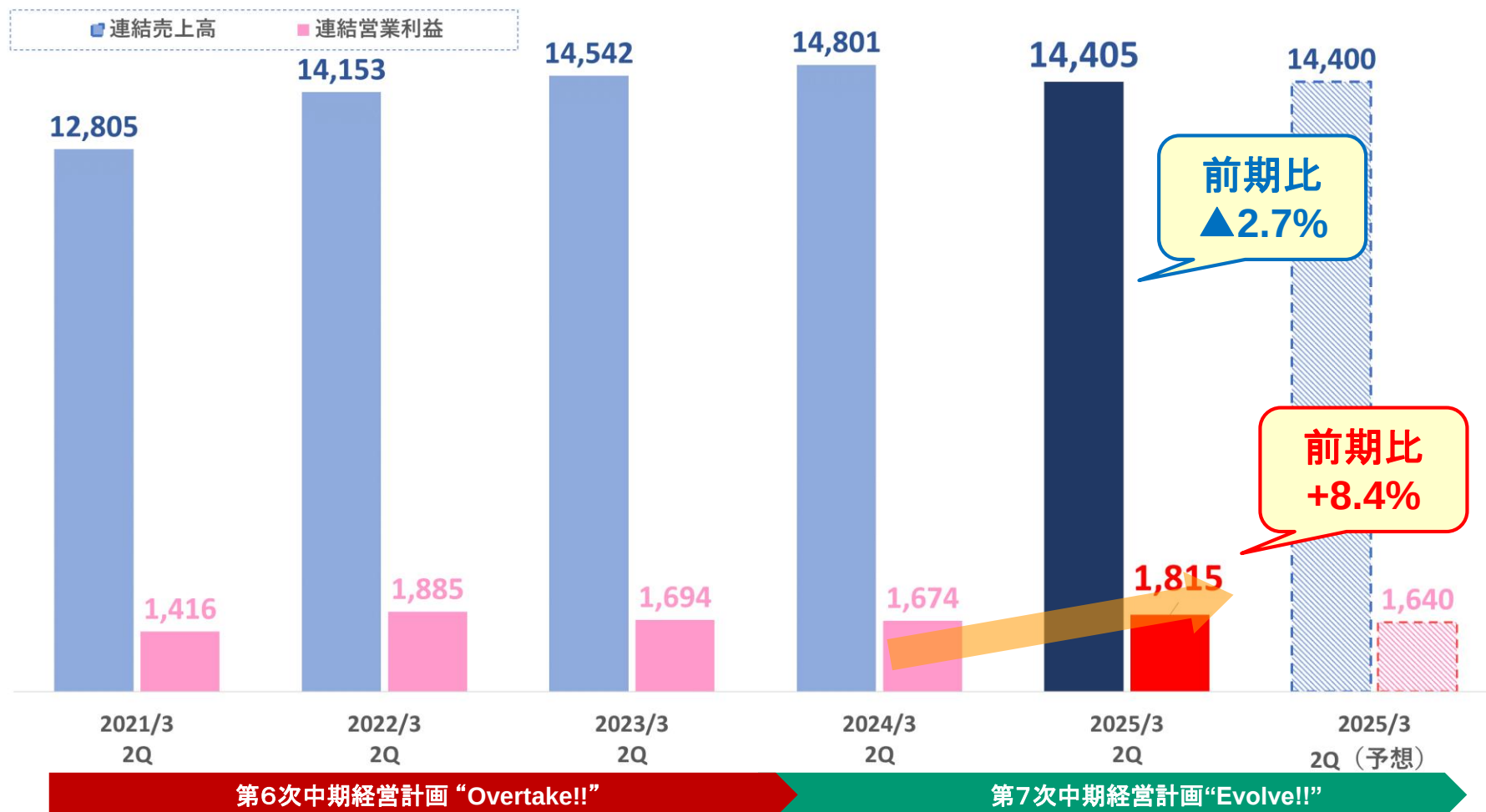
事業セグメント	サブセグメント		
① ファインケミカル 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売	一般消費者用製品(自動車向け)		祖業
	業務用製品(自動車向け、その他産業向け)		
	家庭用品等製品		横展開による 事業領域拡大
	海外事業		
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売		
	電子機器・ソフトウェア開発		
② ポーラスマテリアル 機能性精密多孔質体製品の製造販売	産業資材	ハイテク産業向け精密洗浄・研磨・ろ過用途施品	M&Aによる 事業領域拡大
		医療・衛生用品用途	
	生活資材	自動車、キッチン、化粧、スポーツ等用品	
③ サービス	自動車整備・钣金		
	自動車教習		
	生活用品等企画販売		
④ 不動産関連	不動産賃貸		保有資産の 収益化
	SI(サービスインキュベーション)事業		

Ⅱ：経営成績推移について

Ⅱ：経営成績推移について（連結損益推移）

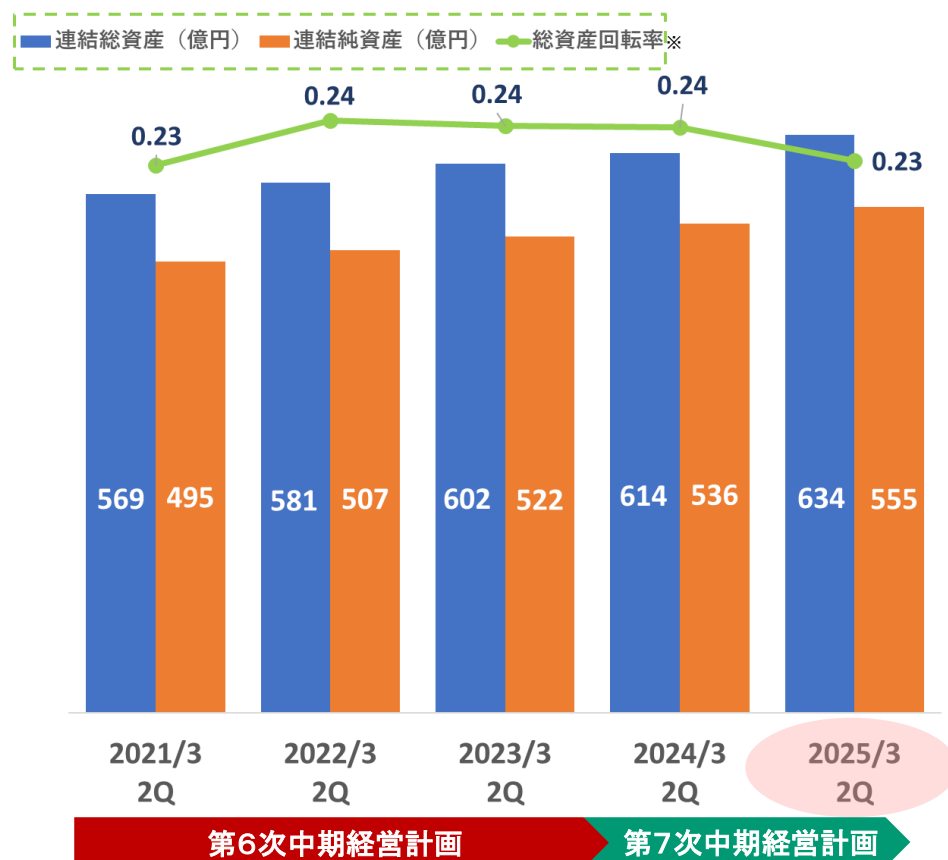
第2四半期（中間期）の連結損益推移

（単位：百万円）



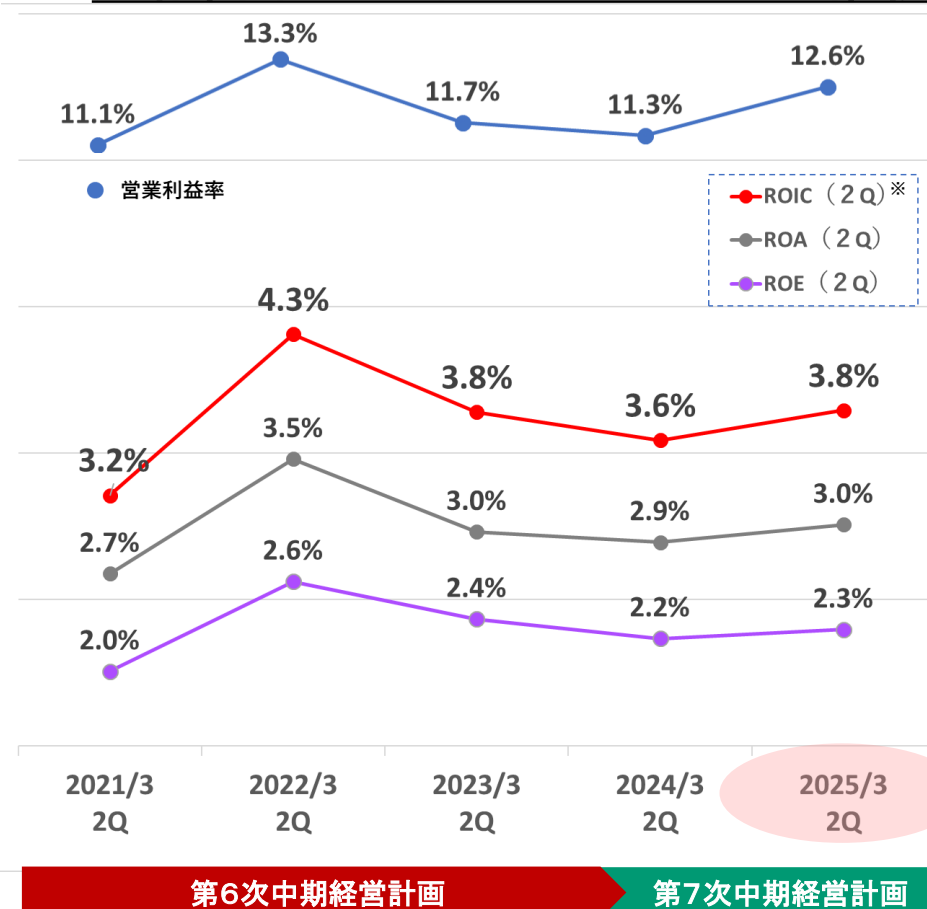
Ⅱ：経営成績推移について(主要経営指標)

総資産回転率推移



※ 総資産回転率は半期連結売上高で算定しております。

連結営業利益率・ROE・ROICの推移



※ ROIC＝税引き後営業利益÷事業投下資本

・税引き後営業利益＝営業利益×(1－実効税率30%)

・事業投下資本＝(流動資産－現預金－有価証券)－流動負債＋(固定資産－保有社債)

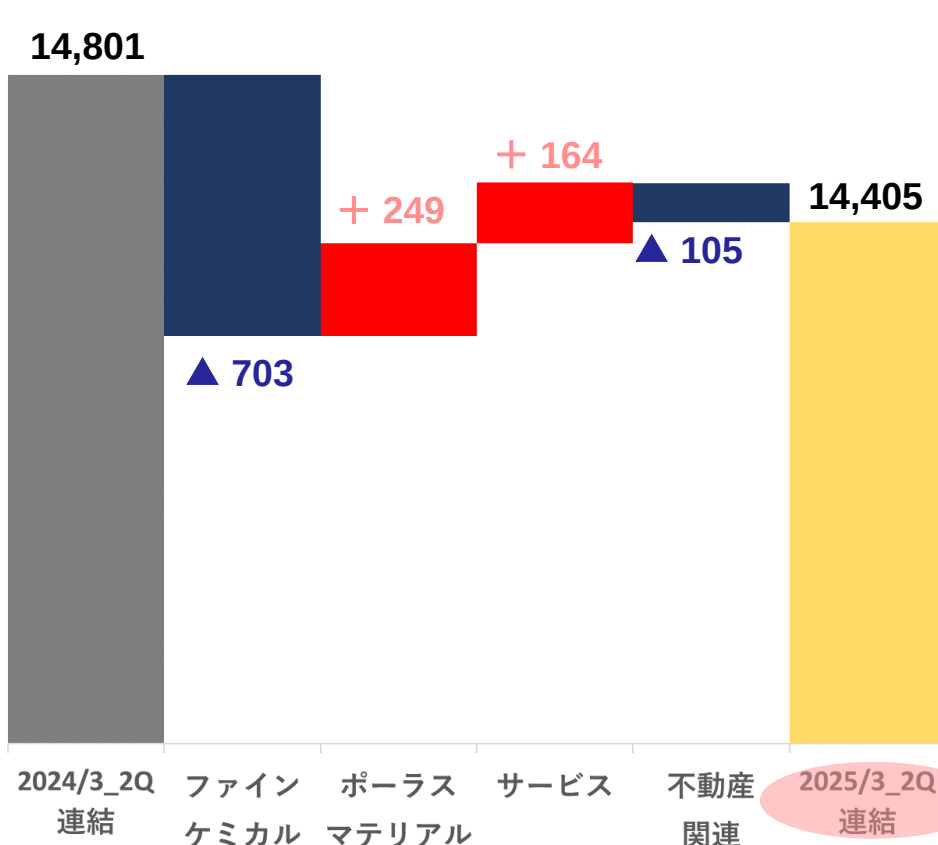
Ⅲ：事業の概況

（2025年3月期 第2四半期）

Ⅲ：事業の概況（セグメント別 損益増減 前期比較）

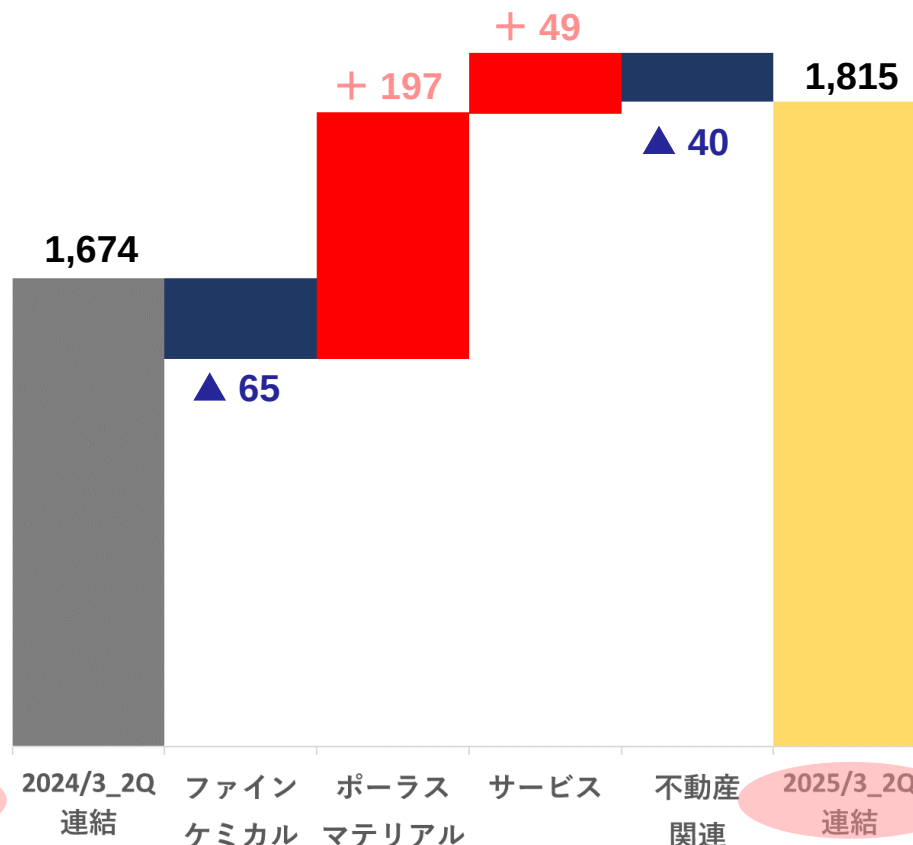
セグメント別売上高・前期比増減

（単位：百万円）



セグメント別利益・前期比増減

（単位：百万円）

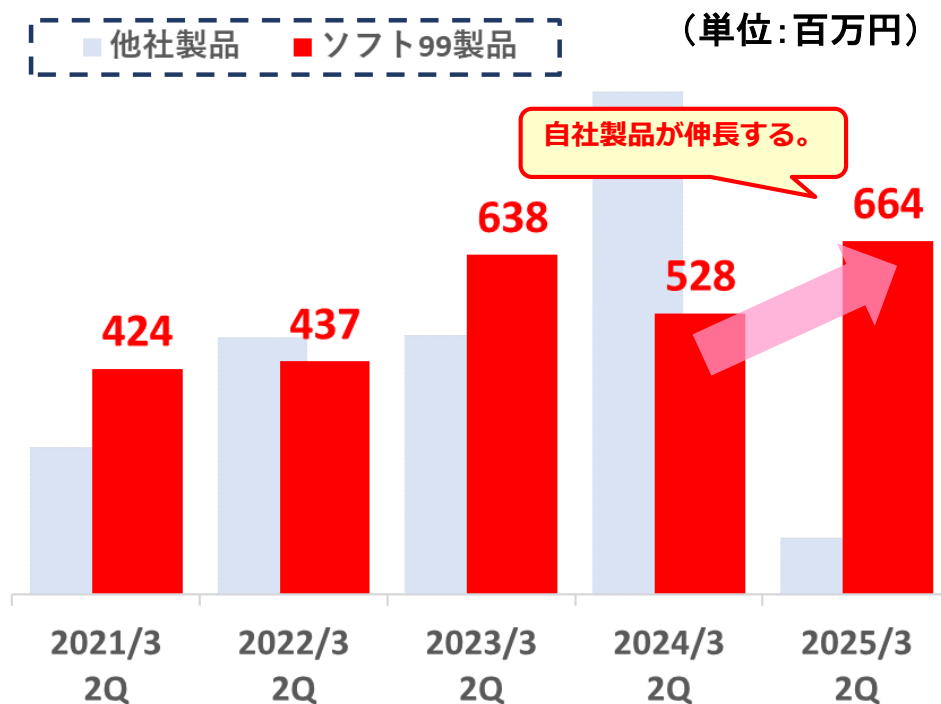


（注）連結調整額除く

Ⅲ：事業の概況 （利益率改善：ファインケミカル・海外製品販売）

- 他社製品の仲介取引撤退により売上高は前年を下回ったものの、自社製品の販売が伸長したことで利益率は改善する。

99製品・他社製品 売上推移



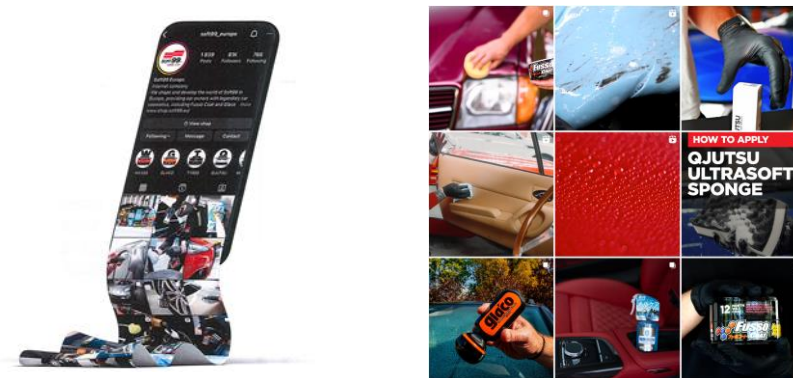
第6次中期経営計画 “Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

現地オリジナルセット品販売



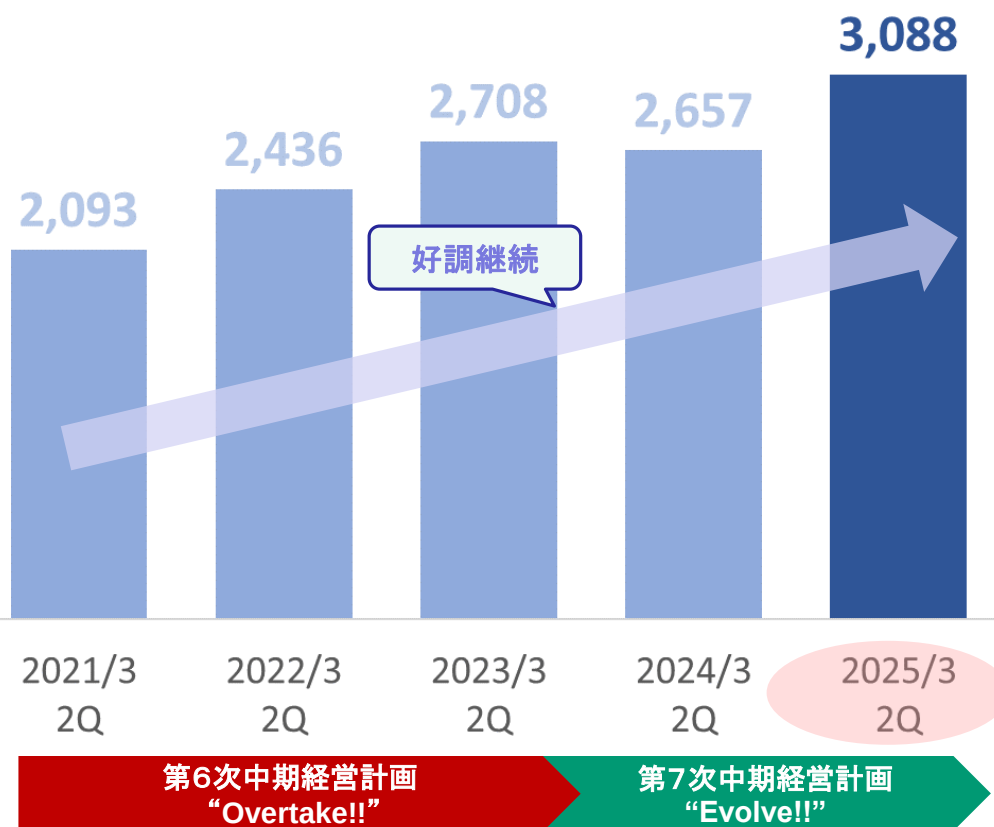
各エリアでのSNS活用によるプロモーション強化



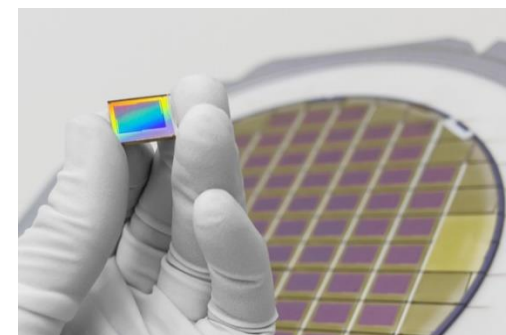
Ⅲ：事業の概況 （利益率改善：ポーラスマテリアル 産業資材）

- 生成AIに関連する投資の拡大を受けて、韓国・台湾などを中心に販売が好調に推移したことで前年実績を上回る。

産業資材 売上推移 （単位：百万円）



半導体をけん引するAI向け需要を取り込み産業資材は堅調に推移



注力分野への設備投資推進

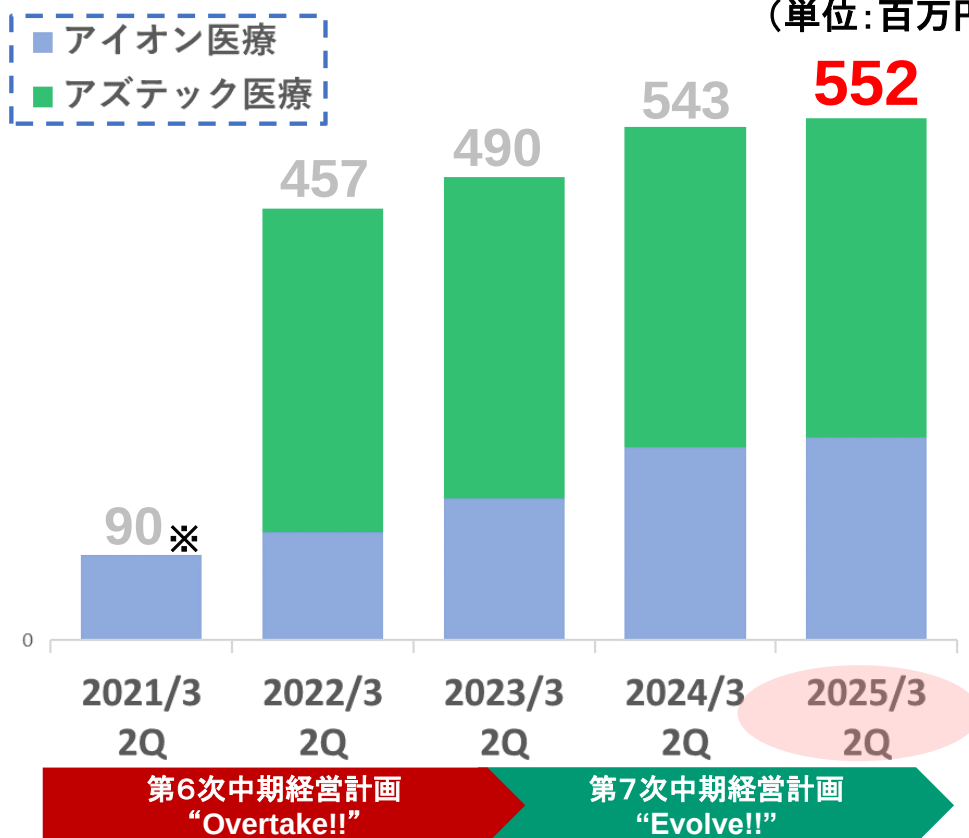


Ⅲ：事業の概況（ポーラスマテリアルセグメント 医療）

- 新規開拓の強化と併せて体外検査薬フィルターや薬液塗布材が堅調に推移する。

産業資材・医療 売上推移

（単位：百万円）



※アズテックは2021/3Qから連結

アズテック：病院施設への提案活動強化



アイオン：PVAスポンジの医療用途開発推進

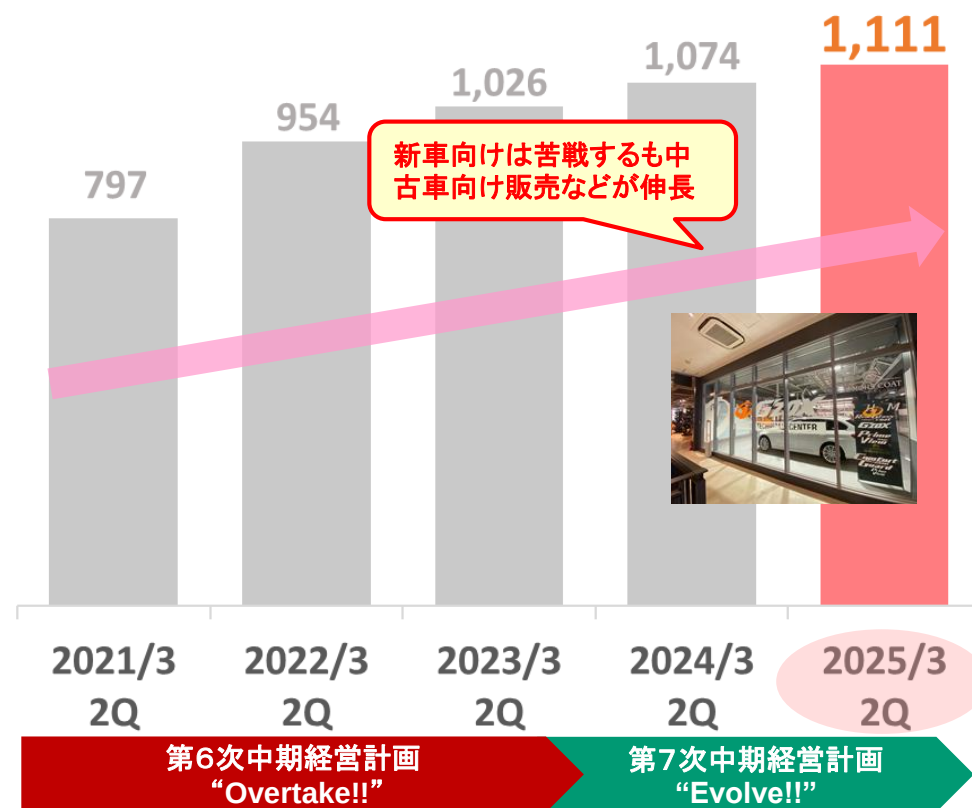


Ⅲ：事業の概況 （ファインケミカル：業務用・サービス：自動車整備钣金事業）

- 業務用製品販売においては認証不正により新車向けは苦戦するも中古車向け製品やコーティング以外の業務用製品の拡販に努めたことで販売が伸長する。
- 自動車整備钣金事業においてはレバレート（作業工賃レート）アップなどの取り組みが奏功する。

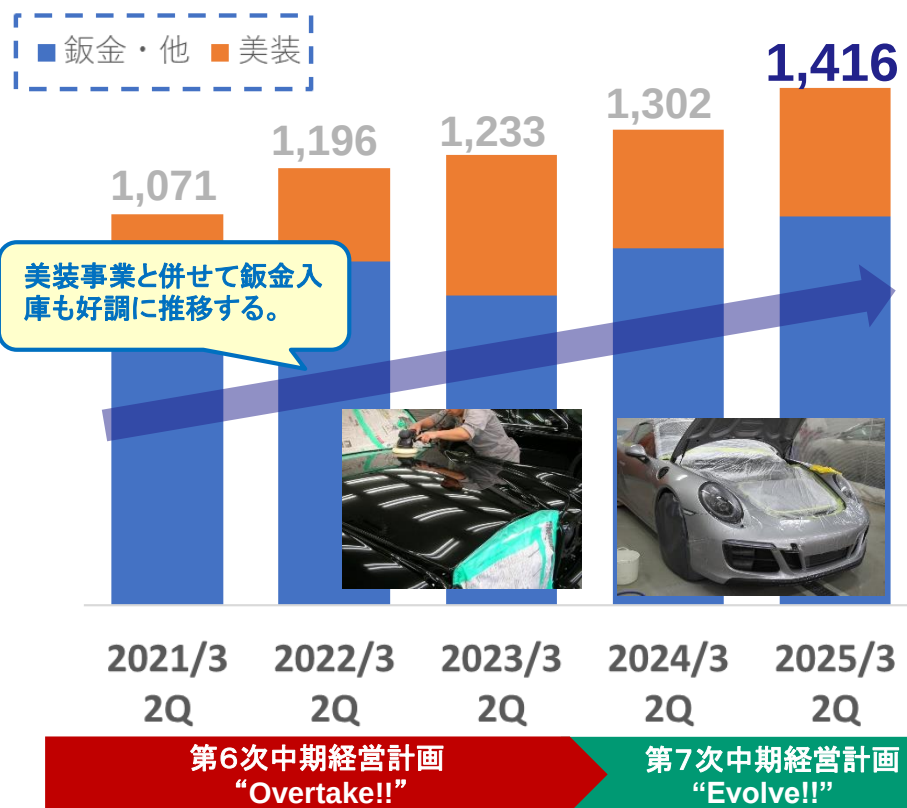
業務用製品 売上推移

（単位：百万円）



自動車整備钣金 売上推移

（単位：百万円）



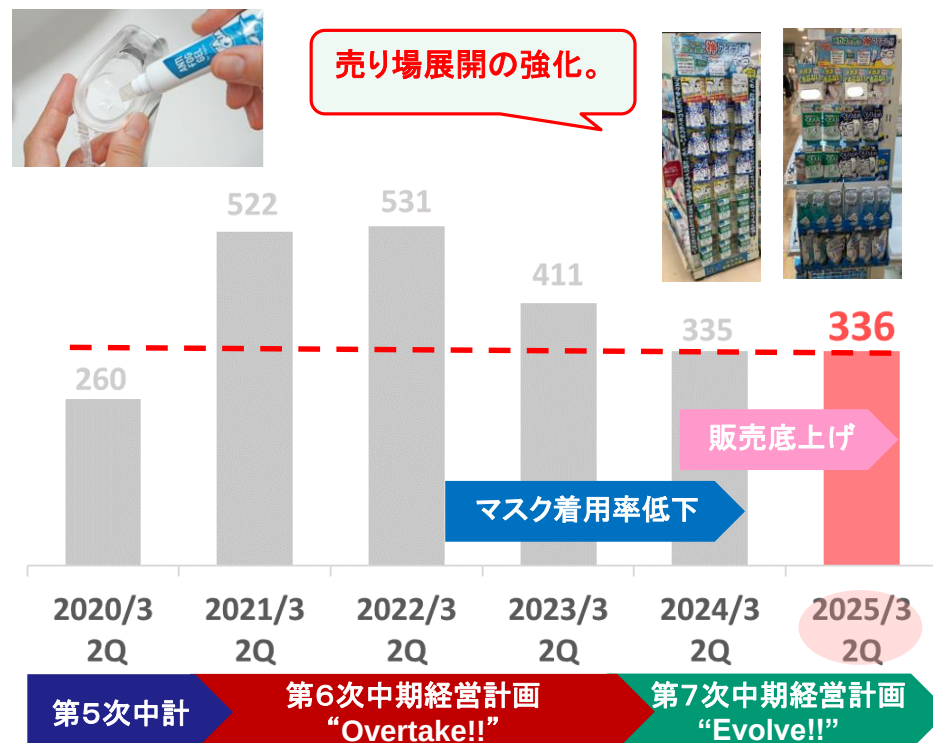
Ⅲ：事業の概況 (ファインケミカル：ホームプロダクト サービス：生活用品企画販売事業)

- マスクの常態化による特需の収束の影響により、メガネケアは苦戦が続いていたものの、売り場展開の強化や新規開拓が進み、前期を上回る。

- 新規採用アイテムの減少傾向は継続しているものの、1アイテムあたりの販売単価が上昇し、前期を上回る。

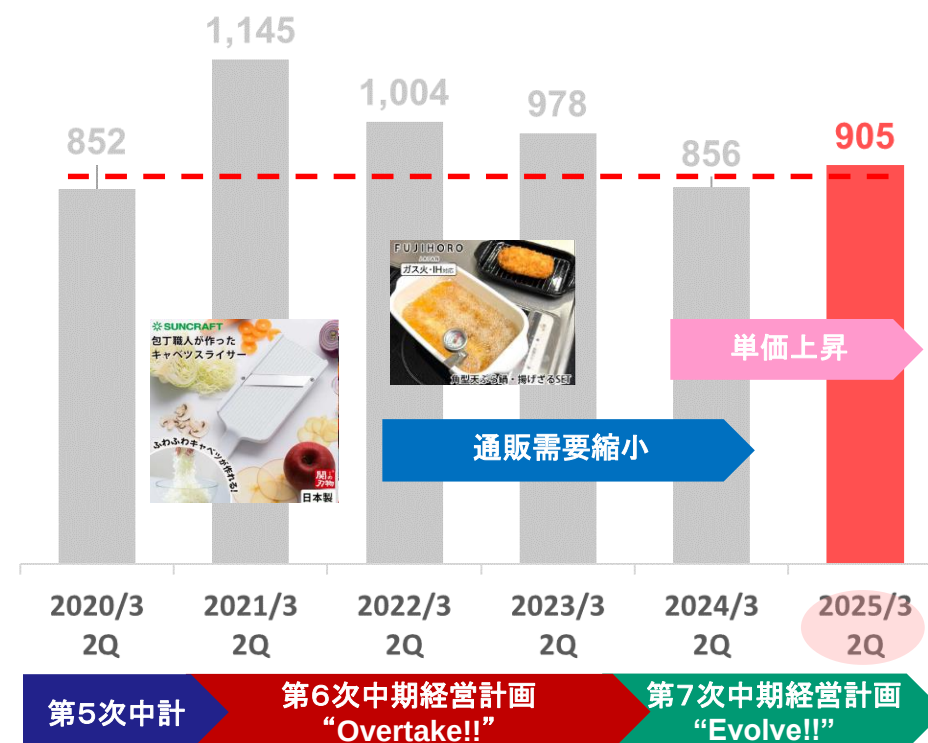
ホームプロダクト 売上推移

(単位：百万円)



生活用品企画販売事業 売上推移

(単位：百万円)

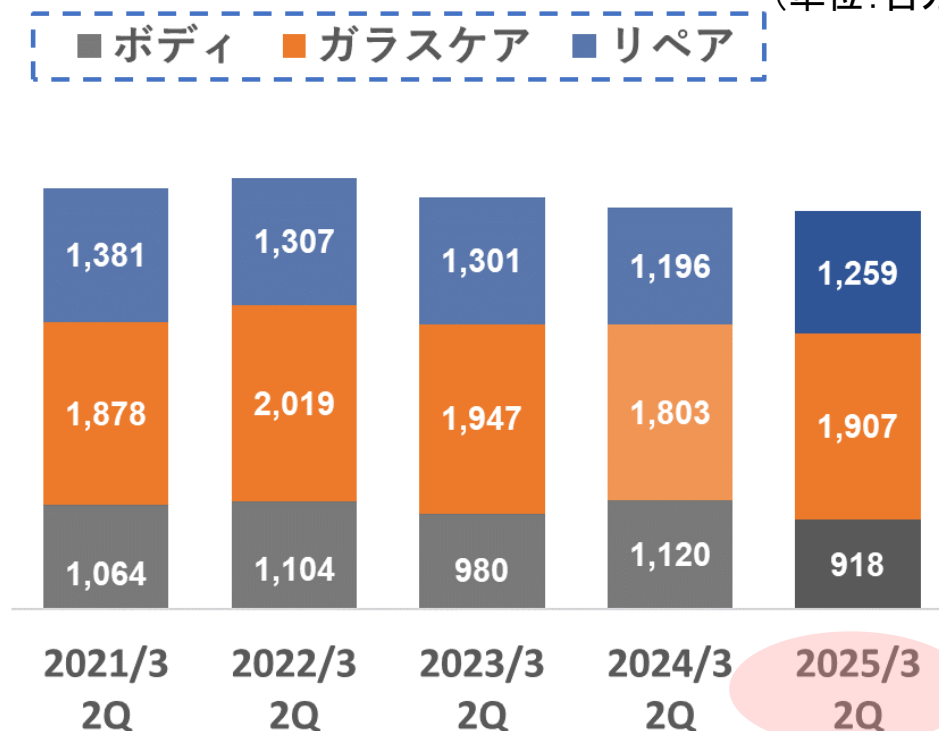


Ⅲ：事業の概況（ファインケミカル：一般消費者向け製品販売）

- ガラスケア製品やリペア製品においては販売が堅調に推移したものの、前年プロモーションを強化した足回り製品などの販売が今期は落ち着いたことから前年実績を下回る。

一般消費者用製品 売上推移

（単位：百万円）



第6次中期経営計画
“Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

『ALAUNEN(アラウネン)』シリーズ販売開始



新自販機販売システム『洗車365』の発売

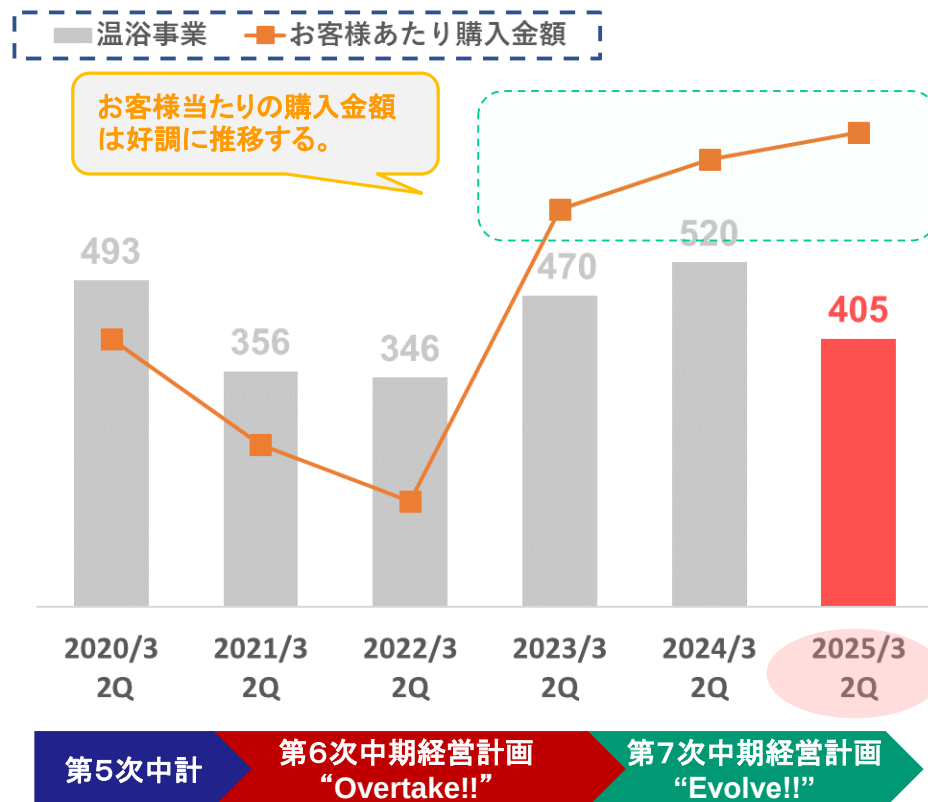


Ⅲ：事業の概況（不動産関連：SI事業）

- 集客イベントの強化やレジャー需要回復を背景に既存店舗のお客様当たりの購入金額は上昇傾向にあるものの、新施設建設のため前期末で1店舗閉店したことで前年実績を下回る。

SI事業（温浴施設運営） 売上推移

（単位：百万円）



地域のPRキャラクターとコラボしたイベント実施による集客向上



2024年3月31日で尼崎店を閉店。
IR・インバウンドを見越した施設へと生まれ変わる予定。



IV：第7次中計に基づく取り組み

IV：第7次中計に基づく取り組み(第7次中計テーマ・ビジョン)

経営理念

生活文化創造企業
～未来のあたりまえを発見する。～

中計テーマ

Evolve!!
～進化せよ!!～

スピード
アップ

アナログ的価値の創出

⇒共感(共観)・特別感といった
ヒトにしか創り出すことができない価値

デジタル推進

⇒脱作業による業務効率化
⇒デジタル知見習得

エモい

社会要請への対応

⇒サステナビリティ(環境・生活)
⇒社会課題解決による利益の伸長

SDGs

経営ビジョン

デジタルを活用し、心揺さぶられるアナログ的(エモい)価値を創り出す『ヒト(人財)』を育て、その価値を通して社会課題の解決に貢献する。

IV：第7次中計に基づく取り組み（ファインケミカル：アナログ的価値）

- 自動車用コーティングの知見を活かし、近年人気が高まっているスポーツサイクル向けのコーティングシステムを開発。
- 自転車販売店向けに施工講習会を実施、講習課程修了や所定の施工実績を認定条件とすることで施工品質を担保し、コーティングの効果を最大化

認定制度による施工品質の担保

講習課程修了店舗様へ認定証を発行。



自動車用コーティングの横展開



velogue



IV：第7次中計に基づく取り組み（ファインケミカル デジタル活用）

- 東大阪市にソフト99直営の洗車場をオープン！フランチャイズ展開による事業拡大を計画。

スマホ完結型キャッシュレスシステムを開発

スマホアプリでユーザーが開錠・施錠
開錠時間に応じて利用料金を課金する
キャッシュレスシステムを開発

HANERON

場内管理システム



スマホアプリ



ゲートの開錠・施錠状況をシステムで管理



ブランド名：アラウディ



2024年11月20日
グランドオープン

IV：第7次中計に基づく取り組み（サステナビリティ 1/2）

- 災害発生時における被災地域の円滑な復旧のために、一般社団法人日本カーシェアリング協会と「災害時における支援に関する協定」を締結。

日本カーシェアリング協会とは



災害時に車で困らない
モビリティ・レジリエンス
の仕組みを作る活動などに
取り組んでいる。



締結式の様子



IV: 第7次中計に基づく取り組み(サステナビリティ 2/2)

- 経営ビジョンに基づき、ソフト99グループで推進する『モノを長く大切にしている取り組み』を発信。

『クルマを丁寧に扱い、長く大切に乗り続けている方々への思い』を発信

「TEAM EXPO 2025」プログラム
共創チャレンジに登録。



くるままでいらいふ



- 「ファインケミカルセグメント 電子機器・ソフトウェア開発販売
ポラスマテリアルセグメント アイオンにおいてサプライヤー
として製品を協賛。

CO2 センサ

接触涼感製品



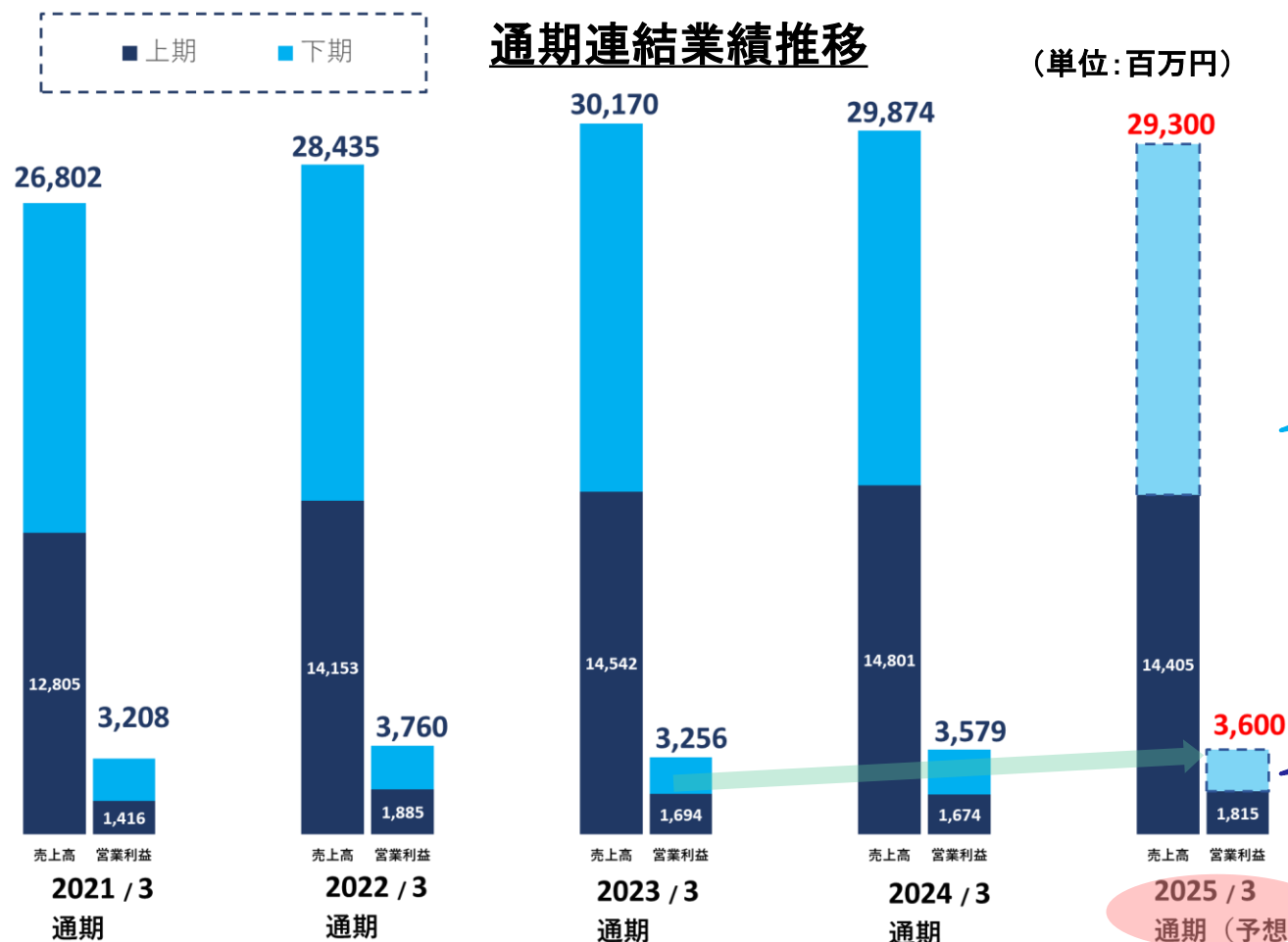
Instagram



V : 通期業績予想と配当予想

V: 通期業績予想と配当予想 (通期業績予想)

■ 2025年3月期の通期業績予想は据え置く。



◆ 売上高予想 (下期)
海外向け販売における他社品の仲介取引からの撤退
温浴施設閉店による販売減を引き続き見込む。

◆ 営業利益予想 (下期)
新基幹システムの稼働や洗車場の運営開始による減価償却費の増加などを見込む。

第6次中期経営計画“Overtake!!”

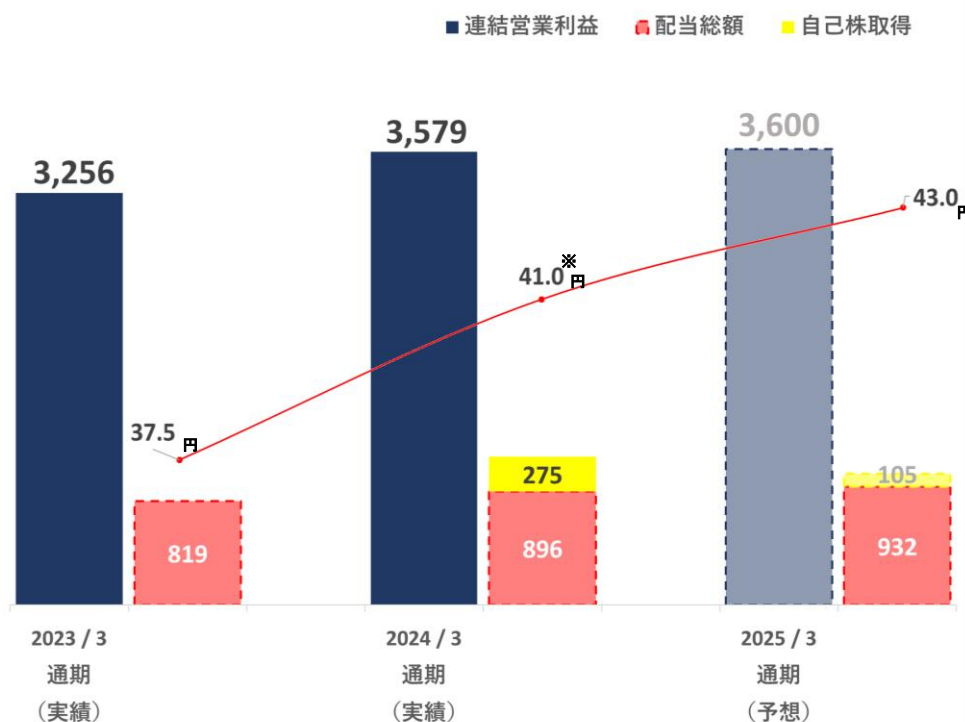
第7次中期経営計画“Evolve!!”

V:通期業績予想と配当予想(通期配当予想・株主還元総額)

- 9月20日に配当予想の修正を開示。中間:21円→21.5円 期末21円→21.5円 通期で1円増配
- 上記配当と合わせて、7次中計に基づいて自己株取得を実施。
- 2025年3月期における自己株式の取得状況は2024年9月末時点で105百万円となる。

(単位:百万円)

通期配当実績の推移と配当予想



※記念配当3円含む

単位 百万円	2023年 3月期 (実績)	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (予想)
連結営業利益	3,256	3,579	3,600
1株当たり 配当額(円)	37.5	41.0	43.0
自己株式 取得額	—	275	105
総還元額	819	1,171	1,037

SEEK OUT INNOVATION

～ 未来の“あたりまえ”を発見する～



Appendix: 計数資料

要約連結貸借対照表(対前期末比較)

(単位:百万円)

	2024年 3月末	2025年 2Q	増減額		2024年 3月末	2025年 2Q	増減額
流動資産	31,673	31,513	▲159	流動負債	4,328	4,125	▲202
現金及び預金	21,468	21,201	▲266	仕入債務	1,379	1,370	▲9
売上債権	4,869	4,913	+43	未払法人税等	709	669	▲40
有価証券	300	100	▲199	未払金・未払費用	1,449	1,307	▲141
棚卸資産	4,579	4,773	+194	その他 (長期借入金含む)	789	777	▲11
その他	454	524	+69	固定負債	3,587	3,695	+107
固定資産	30,869	31,901	+1,031	負債合計	7,915	7,820	▲94
有形固定資産	22,542	22,580	+37	純資産	54,627	55,594	+966
無形固定資産	679	951	+271	株主資本	54,053	54,803	+750
投資その他の資産	7,648	8,370	+721	その他包括利益累計額	574	790	+215
資産	62,542	63,415	+872	負債及び純資産	62,542	63,415	+872

要約連結キャッシュフロー(対前期比較)

(単位:百万円)

	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,289	1,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲396	▲1,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲533	▲598
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	4
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	360	▲277
現金及び現金同等物の期首残高	19,813	21,244
現金及び現金同等物の期末残高	20,174	20,966
減価償却費	440	436
設備投資額(※)	458	587

(※)有形固定資産の取得による支出

連結経営指標ハイライト(対前年比較)

(単位:百万円)

	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	増減
総資産(百万円)	61,468	63,415	+1,946
純資産(百万円)	53,656	55,594	+1,937
自己資本比率	87.3%	87.7%	+0.4pt
ROA(経常利益÷総資産※)	2.9%	3.0%	+0.1pt
ROE(純利益÷純資産※)	2.2%	2.3%	+0.1pt
総資産回転率(売上高÷総資産※)	0.24	0.23	▲0.1pt
1株当たり中間純利益(円)	55.26	59.23	+3.97

※ 各利益は2025年3月期2Q末時点を使用しております。

※ 総資産・純資産の額は2025年3月期2Q末時点を使用しております。

ファインケミカル(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		7,354	6,651	▲703	▲9.6%
	一般用製品:ボディーケア	1,120	918	▲202	▲18.1%
	一般用製品:ガラスケア	1,803	1,907	+103	+5.7%
	一般用製品:リペアグッズ	1,196	1,259	+63	+5.3%
	業務用製品	1,074	1,111	+37	+3.5%
	家庭用品等	335	336	+1	+0.4%
	海外事業	1,474	800	▲674	▲45.8%
	TPMS(タイヤ空気圧監視装置)	103	108	+4	+4.2%
	電子機器・ソフトウェア開発	299	299	▲0	▲0.2%
	その他・調整	▲54	▲90	▲36	—
売上総利益		3,181	3,189	+8	+0.3%
	粗利益率	43.3%	48.0%	+4.7pt	—
営業利益		943	877	▲65	▲7.0%
	営業利益率	12.8%	13.2%	+0.4pt	—

ポーラスマテリアル(損益:対前期比較)

(単位:百万円)			2024年3月期 2 Q	2025年3月期 2 Q	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高			4,057	4,306	+249	+6.1%
	産業資材		3,200	3,641	+441	+13.8%
		国内	1,010	1,084	+74	+7.3%
		海外	1,647	2,004	+358	+21.7%
		医療	543	552	+9	+1.7%
	生活資材		857	665	▲192	▲22.4%
		国内	565	457	▲108	▲19.1%
		海外	292	208	▲84	▲28.8%
売上総利益			1,245	1,433	+188	+15.2%
粗利益率			30.7%	33.3%	+2.6pt	—
営業利益			491	689	+197	+40.2%
営業利益率			12.1%	16.0%	+3.9pt	—

サービス(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		2,653	2,817	+164	+6.2%
	自動車整備・鈑金事業	1,302	1,416	+114	+8.8%
	自動車教習所	494	495	+0	+0.2%
	生活用品企画販売	856	905	+49	+5.8%
売上総利益		612	690	+78	+12.8%
粗利益率		23.1%	24.5%	+1.4pt	—
営業利益		55	104	+49	+89.7%
営業利益率		2.1%	3.7%	+1.6pt	—

不動産関連(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		735	630	▲105	▲14.4%
	不動産賃貸	195	202	+6	+3.3%
	温浴事業	520	405	▲115	▲22.1%
	介護予防支援事業	19	22	+2	+14.5%
売上総利益		190	147	▲42	▲22.4%
粗利益率		25.9%	23.4%	▲2.5pt	—
営業利益		179	138	▲40	▲22.6%
営業利益率		24.3%	22.0%	▲2.3pt	—

セグメント情報(セグメント別売上高・営業利益比較)

(単位:百万円)

売 上 高	2024年3月期 2Q	全体構成比率	2025年3月期 2Q	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	7,354	49.7%	6,651	46.2%	▲3.5pt
ポーラスマテリアル	4,057	27.4%	4,306	29.9%	+2.5pt
サービス・不動産関連	3,389	22.9%	3,447	23.9%	+1.0pt
合 計	14,801	100.0%	14,405	100.0%	—

営 業 利 益	2024年3月期 2Q	全体構成比率	2025年3月期 2Q	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	943	56.5%	877	48.5%	▲8.0pt
ポーラスマテリアル	491	29.4%	689	38.1%	+8.6pt
サービス・不動産関連	234	13.9%	243	13.4%	▲0.6pt
合 計※	1,673	100.0%	1,815	100.0%	—

(※)合計には連結調整額を含む。